

知りたい! 県庁

皆さんの質問にお答えします。

Q

九州縦貫自動車道の加久藤トンネルと、南九州西回り自動車道の工事の進行状況を教えてください。

A

加久藤トンネルは、日本道路公団による九州縦貫自動車道(人吉〜えびの間)の四車線化工事に伴い、すでにあるトンネルとは別に新しいトンネルを工事中で、現在半分程度掘り進められています。また、八代市から水俣市、川内市などを通って鹿児島市に至る南九州西回り自動車道は、熊本県側では八代南〜日奈久間(五・五キロメートル)が、今年の秋に開通する予定です。

日奈久以南についても、国により工事が進められています。なお、鹿児島県側では、伊集院〜鹿児島間がすでに開通しており、今年度中に市来〜伊集院間(十・八キロメートル)が開通する予定です。

Q

無認可保育園の果たしている役割は大きいと思います。指導や援助はあるのでしょうか?

A

認可外(無認可)保育園に対しても、子どもたちの安全で良好な保育環境を確保するため、指導や援助を行っています。

具体的には、毎年、各保育園に対して保育の内容、健康管理の状況などについての報告を求めるとともに、保育園に出向いて検査を行い、必要があれば改善指導を行っています。また、入園している子どもたちの健やかな成長のために、健康診断の経費を一部助成しています。

なお、熊本市内の保育園については、法律によって熊本市が直接指導や援助を行っています。



熊本県道路建設課
お問い合わせ先 ☎096-383-1111(内線6098)
FAX096-384-6121



熊本県児童家庭課
お問い合わせ先 ☎096-383-1111(内線7125)
FAX096-383-1427

くまもと物語 21

熊本のむかし話 その五

鎮西八郎の弓 ー下益城郡富合町ー

今から八百年ほど前のこと、源八郎為朝という者がいました。為朝は源氏の大將源為義の子でも、幼いときから体が大きく、力がとても強いことで知られていました。大きくなった為朝は、肥後の国(熊本)に来て、木原山(下益城郡)に城をかまえ、鎮西八郎為朝と名乗りました。



立岡自然公園より雁回山を望む

その城づくりの最中のこと。一匹の鬼が為朝の家来になって、城づくりにめざましい働きをしました。為朝はすっかり感心して、鬼に「何かほうびをやりたいが、何がよいか。」とたずねると、鬼は「それなら人間を食わせてく

だされ。」と言いついにい出しました。これには為朝もこまづいてしまいました。そこで、「それでは、おまえが一晩に百の谷を掘りあげたら、人間を食わせてやる。」と約束しました。

喜んだ鬼は、一生懸命谷を掘り、とうとう夜のうちに九十九の谷ができあがりました。夜明け前に百の谷ができあがったのはこまる為朝は、ものかげからバタバタとニワトリの羽音を立て「コケコッコー、コケコッコー」と、おんぼりの声をまねて叫びま



木原不動尊
為朝が木原山に城を構えた際、この不動尊を信仰し、祈とう所に定めたという伝説が残っています。



した。これを聞いた鬼は、「あ、一番どりだ。もう夜明けか。一つだけ掘り残して、くやし。」と残念がりながら立ち去ったと言うことです。今でも、木原山に行くとき、この

き鬼が掘ったといわれるたくさんの谷があります。為朝の身長は七尺(約二メートル七センチ)あまり。すずしい目つきをしています。まるで太い棒をおし曲げたような長さ八尺五寸(約二メートル五十七センチ)の強い弓を持っています。この弓を持つた為朝が木原山の城にいて、空行く雁の群れがこの山を避けて、ぐるりと回って飛んでいったといいます。為朝の弓は、天をかける鳥も、地を走るけものも、一度狙ったら逃がすことはないと言われました。なにしろ、為朝の左の腕は右の腕より四寸(約十二センチ)も長かったというのですから、その分だけ弓を引きしぼると、矢はどこまで飛んでいくのか分からないことを雁も知っていたのでしよう。このことから木原山は雁が回って飛ぶ山、雁回山とも呼ばれるようになりました。やがて都に帰った為朝は、保元の乱(一一五六年)という戦で父とともに戦い、日本一の弓勢(弓の力、いきおい)の名を残しました。

